

2005年3月23日

～本部・配送委託会社・共同配送センター・配送車両の全国ネットワーク化～

災害時の物流をサポート！！

デジタル無線による 全国ネットワークを構築

～全国各地との通信を可能にした、世界初の試み～

株式会社セブン-イレブン・ジャパン（以下セブン-イレブン、東京都千代田区、代表取締役社長兼ＣＯＯ：山口俊郎）は、２００５年３月より（財）移動無線センターのネットワーク網を活用し、本部・配送委託会社・共同配送センター・配送車両の無線を従来のアナログ無線から切り替え、デジタル無線ネットワークを構築いたしました。

このネットワークは、交通や通信などの社会的インフラの機能が低下する災害時に、災害対策上重要な緊急情報の通信を確保する手段として、公共機関を中心に構築された 800MHz 帯デジタルＭＣＡ（マルチチャネルアクセス）システムのサービス（以下「mcAccess e」）を活用したものです。セブン-イレブンでは、災害時の被害を軽減するには初動時の的確な対応が極めて重要であると考えており、このネットワークを情報収集・伝達の基盤として今回導入いたします。また、全国各地のセブン-イレブン本部・配送委託会社・共配センター・配送車両を結んだネットワークは、世界初となる試みになります。

デジタル無線である「mcAccess e」は、従来のアナログシステムでは得られなかった、広域エリアでの通信が確保でき、かつ機器の品質・機能が向上しております。

最大の特徴は、「通信エリアの広域化」と「デジタル方式による多彩なサービスの提供」にあります。また、デジタル技術の特徴を生かした各種データ通信、GPS を利用した車両動態管理、積荷の追跡などアプリケーションも効率的に導入することが可能です。その為、通常使用時においてもより安全で確かな運行が行えることで、インフラ作りをさらに徹底し、社会的信用の向上につながってまいります。

以上